

令和4年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		利用人数によっては狭く感じる。個室があると良い。体育館やグラウンド等を常時使用できるのはメリットを感じる。
2	職員の配置数は適切であるか	3		3	個別対応の児童が多い日はなんともいえない。有償ボランティアを活用している。専門性については常に磨く必要がある。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		昨年度トイレに手摺りがついた。今後も必要に応じ見直しをしていく。 和室で排泄交換・休憩を一緒にしている状況。部屋が別にあるとよいと思う。(複数)
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	4	2		有償ボランティアにも大いに参加してもらいたい。
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページ上で公開しており、保護者へも周知をしている。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			令和3年度に第三者評価事業を受審させていただいた。結果も公表をしている。
8	職員の資質の向上を行うために、研修	5	1		虐待防止、身体拘束廃止に向けた取り組みを行って

	の機会を確保しているか				いる。 放課後等デイサービスに特化した研修はあまりない。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別支援計画を一覧できるファイルがあるので良い。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			法人で活用しているシステムでおこなっている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		話し合いの中で共有もできている。 兼務者もおり全職員では難しい。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	4		平日時は中々難しいが、長期休みの際にはマンネリ化しないよう工夫をしている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		5	1	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別対応がしっかりとできている。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日必ず実施をされている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合	3	2	1	日誌を記載しながら話はしている。

	わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。				送りから戻る時刻が遅く、正式な振り返りの時間をもつことが難しい。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			記録の記入にしっかり時間を割いている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			基本は6ヵ月に一度行っている。状況に応じ、見直しが必要な場合は都度実施をしている。
19	ガイドラインの総則に基本活動を複数組み合わせさせて支援をおこなっているか	6			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			主には児童発達支援管理責任者が参加をしている。 (複数)
21	学校との情報共有(年間計画、行事予定、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			学校からお知らせを頂くことはあるが、基本的には下校時刻や年間行事予定等は保護者より情報をえていることが多い。 学校と放課後等デイサービスとの連絡会が年2回程実施をされているが、コロナ禍の現状で中止となっている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	4	医療的ケア児の受け入れ実績なし。

2 3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		新規利用児童受け入れに際し、相談員を交え情報をいただいている。アセスメントに落とし込んでいる。
2 4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		積極的に行っていくべきと確認をしている。
2 5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機会と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		
2 6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	外出先で一緒に遊ぶような事はあるが、予め予定に入れているという事はない。 公園での交流はある。
2 7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6			兼務の職員もおり、全員が参加できている訳ではない。 開催された際には必ず参加をしている。
2 8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	6			連絡帳を利用したり、送り時や迎えに来ていただいた際に様子等お伝えをしている。
2 9	保護者の対応力の向上を図る観点から、ペアレントトレーニング等の支援を行っているか		2	4	

3 0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			児童発達支援管理責任者が契約時に説明をしている。(複数)
3 1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			必要に応じ相談支援事業所へ繋げている。
3 2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	1	現状保護者(家族)会がない。 必要ないという意見の家庭もある。 コロナ前は親子イベントがありました。
3 3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情解決システムがある。
3 4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			月に一度ふれんずつばさ通信を発刊している。 法人の季刊誌に加えて事業所独自の通信を月一で発行している。
3 5	個人情報に十分注意しているか	6			
3 6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			絵カード・顔写真等積極的に活用している。
3 7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1		ボランティアの受け入れは行っているが、イベント等はコロナ等世情を鑑みても難しい。
3 8	緊急時対応マニュアル、防犯マニユア	5		1	マニュアルの存在は知っている程度。

	ル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				全職員や保護者に周知はできていない。
3 9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか	6			火災・地震を隔月で実施をしている。洪水を想定した訓練も実施をしている。
4 0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			法人全体で研修している。 身体拘束の適正化に向けての委員会も実施されている。
4 1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			同意も得て実施をしていたが、今年度より身体拘束廃止に向けた取り組みを行っており、委員会を通じて事業所内や法人で適正化に向け話し合いを行っている。
4 2	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか		5	1	アレルギーのある児童は把握しているが、医師の指示書までではない。 契約時のアセスメントから薬が変更になっている児童もあり、健康管理状況について一覧できるものがあればよい。→都度更新をしていく必要がある。
4 3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			